

御霊の火を消さないために私たちには  
何が求められるか？  
テサロニケ人への手紙第一5章12～24節



1

### かんたんなイントロダクション

- 新約聖書のなかで最も早く書かれた。
- テサロニケの教会はパウロが第二次伝道旅行の際、設立された(使徒の働き17章参照)。
- 若い教会で迫害があったにもかかわらず、信者たちは勇敢に耐えていることがテモテによって伝えられた。
- 主の再臨は信者を励ましたり、きよめたり、慰めたり、絶えず目覚めさせる、という望みについてのすすめが本書で記されている。

2

教会の群れの中で私たちに求められること

- 5:12 兄弟たちよ。あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主にあってあなたがたを指導し、訓戒している人々を認めなさい。
- 5:13 その務めのゆえに、愛をもって深い尊敬を払いなさい。お互いの間に平和を保ちなさい。

3

教会のリーダーがたて上げられるように

- ルカの福音書10章2節「実りは多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。
- ヘブル人への手紙13章17節
- あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人々は神に弁明する者であって、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆いてすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にならないからです。

4

教会の群れとして私たちに求められること

- 5:14 兄弟たち。あなたがたに勧告します。気ままな者を戒め、小心な者を励まし、弱い者を助け、すべての人に対して寛容でありなさい。
- 5:15 だれも悪をもって悪に報いないように気をつけ、お互いの間で、またすべての人に対して、いつも善を行なうよう務めなさい。

5

信仰の家族の人たちに良いことを行う

- ローマ人への手紙15章1～2節 私たち力のある者は、力のない人たちの弱さをになうべきです。自分を喜ばせるべきではありません。<sup>2</sup> 私たちはひとりひとり、隣人を喜ばせ、その徳を高め、その人の益となるようにすべきです。
- ヨハネの手紙第一4章20～21節 <sup>20</sup> 神を愛すると言いつつ兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。<sup>21</sup> 神を愛する者は、兄弟をも愛すべきです。私たちはこの命令をキリストから受けています。

6

神との関係で私たちに求められること①～③

- 5:16 いつも喜んでいなさい。①
- 5:17 絶えず 祈りなさい。②
- 5:18 すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。③

7

なぜ①～③が私たちに求められるのか？

- ヨハネの福音書6章35節 イエスは言われた。「わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことはありません。」
- ペテロの手紙第一5章7～8節 7あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。8身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるしのように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。

8

神との関係で私たちに求められること ④～⑦

- 5:19 御霊を消してはなりません。④
- 5:20 預言をないがしろにははいけません⑤
- 5:21 すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい。⑥
- 5:22 悪はどんな悪でも避けなさい。⑦

9

なぜこれら④～⑦が私たちに求められるのか？

- エペソ4:30 神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によって証印を押されているのです。
- ヘブル人への手紙4章12節 神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。
- テサロニケ人への手紙第一4章7～8節 神が私たちが召されたのは、汚れを行なわせるためではなく、聖潔を得させるためです。8ですから、このことを拒む者は、人を拒むのではなく、あなたがたに聖霊をお与えになる神を拒むのです。

10

平和の神からの約束

- 5:23 平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだ が完全に守られますように。
- 5:24 あなたがたを召された方は真実ですから、きっとそのことをしてくださいませ。

11

それぞれがつかわれた場で

- ヨハネの手紙第一4章1節 愛する者たち。霊だからといって、みな信じてはいけません。それらの霊が神からのものかどうかを、ためしなさい。なぜなら、にせ預言者がたくさん世に出て来たからです。
- ピリピ人への手紙4章8～9節 8最後に、兄弟たち。すべての真実なこと、すべての誉れあること、すべての正しいこと、すべての清いこと、すべての愛すべきこと、すべての評判の良いこと、そのほか徳と言われること、称賛に値することがあるならば、そのようなことに心を留めなさい。9あなたがたが私から学び、受け、聞き、また見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神があなたがたとともにいてくださいます。

12